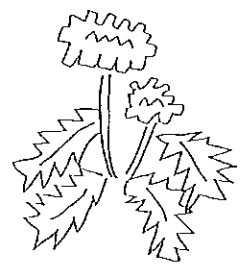


たんほほ

NO 1 1 9
 H 9 年 5 月 1 日
 - 発 行 -
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



彗星

理事長 田中 稔

三月三十一日の夜、七時半頃庭で空を見上げていたら、偶然にヘルボップ彗星を見ることができました。良く晴れた日で、他の星がキラキラくつきりと輝いている中で、ポォーと後ろに尾をひいて北西の空に浮かんでいました。後で聞いたところによると、この日の前後が太陽に最も接近したとすることで、肉眼でもその姿を見ることができました。

この星は四、五千年の周期で地球に近づくようですが、前回ピラミッドが作られる以前この星を見た人達は、どんな人達で、どんな思いを持って見たのでしょうか。その中には障害児を持った親、障害のある人、子供もいたと思います。もっとも障害などというレッテル、ことばがこの世に登場したのは、ついこの前の事なのです。

それ以前では、ずーっとずーっと大昔から人は差別される事なく、全ての人が人として生きていたのです。

学問の進歩が障害というこぼを生み、差別を生みました。学問の進歩が世の中を便利にしたと同時に、人の格差を生みました。こうして変わってしまった地球を久しぶりに見て、変な具合に変わってしまったなとこの星は思ったかも知れません。次にこの星が地球を見る時には、どうなっている事やら。

この星を私が今見ることが出来たと言うことも、何かの縁でしょう。人は、人と、物と、縁によって出会い、別れていきます。人はずの流れの中で、無数の縁によって生きています。

三月は年度かわりの節目の時です。縁の変わり目の時です。長く私たちと縁があって、一緒に仕事

をしていただいた方達との別れがありました。

一方、私たちと新たな縁が生まれた方達もいます。私がチョット変わった生き方をする子供に恵まれたのも、縁があったということでしょう。これを受け入れて、自分の今という人生を生きる、それだけのことです。

自然の大きな流れの中では、一人の人間の人生などは一瞬のことにはすぎません。だからこそ、今という時が大切だという教えをどこかで読んだように思います。



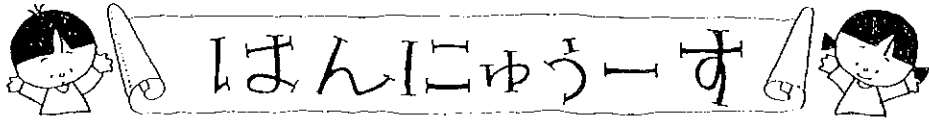
一 のん気 - こん気 - げん気

▽先日、4ヶ月にわたるペル人質事件が解決した。平和利によるものではなく、強行突入による奪回作戦だった。瞬時の出来事で、犯人全員射殺という結果で幕を閉じた。同邦の方が全員解放されたことはとてもほっとしたもの、ペルー高官の方の犠牲には考えさせられた。

▽例年にも増して、早い春が過ぎ、外の景色は、今新緑が目映い初夏といった風情である。今年の花見は、桜ならぬつつじと言ったところのようだ。つつじの里大津の面目躍如である。

▽この春、10周年を迎えた三気の里。開園祭に向けて古いアルバムをめくり、過去を懐かしみ一向に進まぬ準備に少し苛立ちながら、古い資料をかき集めていた。10年前を知る園生も職員も少なくなつたが、奮闘する姿はあまり変わらぬ映えのしないものにおもえる。成長の無い自分、加えて体の衰えは、憂鬱を掻き立てている。

▽新入園生2名、新職員3名を加え、新5班体制での新たな船出である。順風満帆とはいかないが、10周年再出発も「のんき・こんき・元氣」で舵取りだ。



1班 - スタートライン

新緑のさわやかな香りが、あたり一面を漂い三気の里のツツジがきれいに咲いています。新年度を迎えた旧メンバーの英ちゃん、俊ちゃん、憲ちゃん、勝ちゃん、健ちゃん、しーちゃん、建ちゃん、ゆかりさん、まーくん、英君、新たなメンバー、良夫君、まっちゃん、あっこちゃん、洋一君、麻衣ちゃん加わり、総勢16名と職員6名でパッキン作業や鶏の世話を毎日頑張っています。

この作業は手先を使う為、古いメンバーは皆手先が器用になりました。しかし作業をしながら、もっと手が小さかったら…と思うのは私だけでしょうか。

新メンバーも今ではとても上手になりました。作業が早くなり、職員のチェックが間に合わない状態で、嬉しい悲鳴です。

個性豊かなメンバーと職員が集まった1班。これから皆で力を合わせて作業頑張っていきます。麻生き

2班 - 新しいスタート

2班も新メンバーを迎え、新たな出発となりました。(返り咲きしたメンバーも数名…。私事ではありますが、私も新メンバーの一人としてスタート地点に並びました。)

最初の2班の活動は初顔合わせ会でした。皆の紹介もそちのけで自分の歌に酔いしれる宣陽さん(王将)。負けじと歌い出す山布子ちゃん(白いブランコ)。職員の笑いの渦で幕を上げた景気の良いスタートとなりました。

では、新2班の紹介と参りましょう。いつも先に作業始め、仕事熱心で頼りになるさゆりちゃん・民さん。静養が4月の始まりとなってしまった龍也くん・正樹くん・聡くん。いつも元気一杯の泰彰くん・明日香ちゃん・淳ちゃん。かわいらしく笑う幸恵ちゃん・博美ちゃん。ベストカップルの方紀くん・山布子ちゃん。これ以上のコンビはいないと想われる宣陽さん・忠ちゃん。マイペースで皆を和ませてくれる文ちゃん・博くん。園生16名、職員5名の総勢21名の班です。今後沢山のエピソードを繰り広げてくれることと今から楽しみにしています。

追伸…2班の皆さん、これからよろしくお願いします。お手柔らかにね！ 有働

3班 - S T A R T

桜の花も散り、近くの公園では戦手交替と言うかの様に赤や白の鮮やかな色をつけ、私たちの目を楽しませてくれる今日この頃ですが、我が3班(木工班)も4月より新しいメンバーでスタートし、1ヶ月が経ちました。私にとっても、また新しく3班へ入ったメンバーにとっても初めての事ばかりで、少し戸惑う事もあります。そんな中、去る4月16日(水)に新メンバーで初めてのレクレーションということで、蘇陽町にある服掛松キャンプ場へ行きました。

前日、雨がふり風もあったのでどうなることか?と少し心配しましたが、そのような心配とは裏腹に雲ひとつない天候に恵まれ、太陽の日差しと青々とした芝の香りを体中に吸い込み、それぞれにアスレチックで遊んだり、ゲームをしたり、昼寝をしたりとそれぞれに思いっきり羽根をのばせた一日となりました。

こんな、晴れ男・晴れ女の揃った3班(木工班)を宜しくお願いします。 山口

1 班 - 雑草に負けるな！

雨が続いたかと思うとカンカンと太陽が照りつけたり、蒸し暑い日が続いていますが、皆様はどのようにお過ごしでしょうか？ 私たち農耕班は、そんな天気ももろともせず毎日もくもくと草取り作業をする日が続いています。そんな中、去る6月12日にちょっと一息ついてレクリエーションで買い物とボーリングに出掛けました。買い物はサンリー菊陽寿屋へ行きました。CDを買った猛くんと洋服を買った久美ちゃんにご満悦の様子。又、ゲームコーナーではルーさんと功一くんがユーホーキャッチャーに夢中になっていた様です。その他、潔くん、一裕くん、信ちゃん、憲吾くん、高志くんがブリクラに挑戦したりと、皆それぞれに楽しんでいました。昼食はレストランで摂りました。光紀くん、創くん、緑恵ちゃん、浩ちゃんはボリュウムのある食事に満足そうにしていました。その後、サンビアンボウルへ行きました。ボーリング場では、新ちゃん、隆博くんがポーズをとったりと大はしゃぎでストライクが出るたびに歓声があがっていました。おやつは喫茶店で摂りました。自分でいちごパフェを注文していた聡くん、大好きなアイスコーヒーをアっという間に飲んでしまっていた泰くんと皆それぞれひとときの休息を味わっていた様です。また畑ではたくましい雑草君達が皆を待っています。米月は待ちに待った宿泊レクリエーション！ その時まで皆で力を合わせて頑張ろう。 石井

5 班 - 疾風に雑草を知る

取っても取っても生えてくるものは何でしょう。そうです。草です。毎日、毎日、草と格闘しています。今まで生きてきて取った量の20倍ぐらいをこの2カ月で取りました。「しつこいやつは嫌われるぞ。」と言い聞かせても一向に言うことを聞きません。無視するとどどんのぼせてしまいます。まるで私の妻のようです。（たんぼぼを読みませんように。）「あ～きつかね～」との私の言葉に対し、「まだまだ序の口ですよ。これからが夏本番ですよ。」と職員の人子さんがうっすらと笑みを浮かべながら言いました。少し怖くなりました。

さて、園生のみんなどはというと、パワフルに草を取り続ける泰ちゃん、亮くん。小さな草まで見逃さない敬ちゃん、博くん、久美加ちゃん、山美ちゃん、誉ちゃん、陽ちゃん。マイペースに取り組む中島くん、一精くん、典くん、武ちゃん。まさにプロ級の富田さん、松島さん。みんなには頭が下がります。

梅雨に入った途端、雨が降らなくなりました。「明日こそはみんなに負けないように頑張ろう。」と思うと同時に、明日、雨が降ることを願っているのは私だけでしょうか。 松田



療育月報 雑誌記事

木下 昭二

三気の里の開園十周年を迎えるに当たり、最近では、居合わせた数人の職員で、この十年間に起こった数え切れない程の出来事を、振り返って話す機会も自然と増えてきました。そんな懐かしい会話の中に、出てくる事の多くは、不思議と「楽しかったーっ」と言う話よりは、圧倒的に「あの時は大変だった」や「〇〇くんのパニックの時はきつかった」といった内容のものが多いのも、当時の三気の里の状況がいかに凄かったかを物語っています。しかし、そういった話をする時の職員の表情は一樣に明るく生き生きとしていて、悲愴感のかけすらも感じないのはどうしてか？と考えてみました。開所当初は今よりもっと労働条件がきつ、四週四休で、しかもパニックはあちこちで起こっていた為、夜勤明けでもボランティアで昼過ぎや夕方まで残っているというところは日常茶飯事でした。そんな苛酷とも言える条件の中でも、一人として弱音を吐かずにやって来れたのは、(前)土井園長の的確な

アドバイスやサポートは勿論の事ながら、今よりも職員一人一人の心や気持ちや態度の中に、もっとゆとりがあったからではないだろうか。

昭和62年5月の当初は、なかなか園内に入ろうとしない園生を、押すでもなく引くでもなく、ただ言葉かけただけで本人の意思で園内に入ってもらう為に、5時間も6時間もじっと待ち続けたり(水分補給等には気を使っていたことは言うまでもないことだが)車から降りようとしないう園生がいるときには、保護者の方に車を置いて、公共交通機関を使って帰ってもらうことも珍しくなく、そこから園内に入ってもらうまでのやり取りは延々と続いています。そんな質的にも、量的にもゆとりのある環境の中で、職員との関係作りができていた当時の園生は、雪が解けて行くかのように次第に心を開いてくれ、少しずつ職員を受け入れてくれるようになり、その段階で初めて指導や療育と呼べるステップに移行していたように思います。関係作りができてからの指導でしたから、本人達の指導に対しての受け入れ態勢も整っていま

したので、ダメなものはダメとはっきり言える関係でしたし、踏み込んだ指導に対しても自信を持って出来ていました。それに対してのパニックが起こった場合でも原因がはっきりしているので、対応も的確にできたし、その後落ち着いてからのケアも十分に配慮することが出来ました。

当時と今とを比較することは、状況も違うのでなかなか出来ませんが、園生にとっても、新人職員にとっても、「ゆとり」と言う面では少し、否、大分急ぎ過ぎているように思います。

園生の場合で言うと、「のん気」や「こん気」より、いかに早く他の園生の流れに乗れるようになるかといった指導になりがちであるし(極端な言い方ですが)、指導員で言えば、担当園生の事を始め、勤務毎の職員としての動きや作業の手順から記録に関するもの、そして何より大変なのが一度に80名の園生一人一人の特徴を覚え掴まなければならぬことです。

新人職員に対しての指導的な(質的な)フォローで言うと、(前)土井園長の足元にも及びませんが、その指導方法、園生に対しての考

え方等を受け継いできた職員が、5人〜10人と集まると何らかの(よりの確かな)アドバイスができるような状態にはなっています。しかし、量的な(人的な)フォローはベテランがどんなに頑張っても、努力しても、中堅職員や新人職員をフォローしてあげることはできません。

新年度がスタートして一カ月が過ぎましたが、三気の里の中には、午前中16〜17名の園生の作業指導を一人で行うような危機とした場面が、毎日のようにひと班はあるような状態になっています。三つの「気」のん気・こん気・げん気の言葉の生みの親でもある、近藤先生の知的障害者の方々との「共生」の場「なすな園」を理想に掲げ、その近藤先生のお話しにみんなで涙したときの気持ちを思い出して、伸び盛りの今の園生に対して、もっと「ゆとり」ある療育ができるような園生への配慮をお願いします。



10年を振り返って

高橋 千草

風薫る五月に開所した三気の里が十周年を迎えました。その記念の時と一緒に過ごせたことを誇りに思っています。思い返せば、開所前三気の里の周りは杉と竹に囲まれていて伐採が最初の仕事でした。それから、一年先輩の施設である志摩学園に順番で実習もさせて頂きました。窓にはかわいらしい壁面も飾ってわくわくしてみんなを迎えたことが昨日のことのようです。

開所時は、13名の指導員に23名の園生でスタートしました。夜中1時2時まで一緒に過ごし(寝付くまで居室に担当がいました。)それから指導員同志でミーティングすると3時ぐらいいになり、家に帰って少し寝ると、6時半には出勤するというのを2・3カ月続けました。自宅から初めて外での生活をする園生にとってお父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、友達役割を果たす為必死で、しかも、充実した楽しい日々でした。"初心忘るべからず"あの情熱を失う事なくこれからも歩き続けて行きましよう。

10年を振り返って

荒牧 マスヨ

陣内を経て三気の里へ向かうと、周囲の田園風景の中に本館、作業棟等の建物が点在し体育館が異彩を放っています。

10年の年月を三気の里で過ごした息子の今は穏やかな顔を見詰めていると、あの凄まじかったパニックの日々が遠い日になりました。

指導員の人も入れ替わり当時の事を目の当りにした人も大半は退職され、又保護者に於ても園生の増加に伴って80名となり、月一回の保護者会も多数の参加があります。

これからの10年も、いろんな個性を持った人達との出会いを大切に、今後もお付き合いを深めて行きたいと思えます。

退所のお知らせ

ミドリさん

3月31日付けでミドリさんが退所されました。泣き虫だけど得意の台詞「パンが好き」や満天の笑顔が印象的です。天草でも元気に頑張ってください。

高野



新入園生紹介

洋一君

延岡市から来ました洋一君。中学校を卒業したばかりの歌って踊れる16歳です。皆さんよろしく!

高田

麻衣ちゃん

みんなに麻衣ちゃんと呼ばれ、笑顔が魅力的で、とても愛されています。これからもよろしくね。



麻生き



新入職員紹介

松田 健

縁あって高校の教員からトラバ一湯しました。(園生と一緒に入浴するので...)一生懸命頑張りますので、何卒宜しくお願い致します。



広瀬 美紀

始めまして、今年の3月に尚絅短期大学を卒業したばかりです。頑張りますので宜しくお願いします。



麻生貴美

この春、短大を卒業したばかりの新人の麻生貴美です。一日一日を大切に元氣一杯で頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



心理リハビリテーション研修会

山口 裕之

去る、3月28日(金)〜4月4日(金)までの7泊8日で第65回心理リハビリテーション研修会が福岡県で行われ、三気の里から1名、三気の家から1名参加しました。このキャンプでは主に脳性マヒの子ども達を対象に一週間のキャンプで動作法によって、体の正しい動かし方、また力の入れ方が分かるように訓練していきます。

一日の中では、訓練ばかりではなく、集団療育として運動会やハイキングなどもあり、参加者全員が楽しめる場もあったり一人一人の動作法に関する疑問などを話し合ったりと、この一週間はとても充実したものとなりました。

このキャンプで学んだことを、今後三気の里で生かせたらと考えています。

5月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
				1	2	3	加憲法記念日
白富田さん、久美ちゃん、藤己くん、若吾くん、昌弘くん、英徳くん、松島さん、藤村くん、龍也くん 誕生日おめでとう! 16日(金)登山 17日(土)保護者会、一斉帰宅 28日(木)誕生会 31日(土)学年会 4月29日から5月5日までG-W				G-W			
4	5	6	7	8	9	10	
	藤己くんの誕生日(29) 若吾くんの誕生日(20)			昌弘くんの誕生日(27)	英徳くんの誕生日(31)		
11	12	13	14	15	16	17	
	松島さんの誕生日(58)				登山	保護者会、一斉帰宅	
18	19	20	21	22	23	24	
			藤村くんの誕生日(27) 龍也くんの誕生日(24)				
25	26	27	28	29	30	31	
			誕生会		たんの日(編集日)	学年会	



食堂学芸部中

4月になりいよいよ就職して3年目になります。今年から今まで夜勤だったのが宿直に変わり、ますます園生とかかわる時間が増え、うれしく思っています。宿直の仕事の一つである食堂掃除を台拭き当番になっている園生が手伝ってくれます。皆で分担してするので時間短縮にもなるとても助かっています。それと、今まであまり会話することのなかった園生とも接する事ができて、新しい発見がいっぱいです。



上村

栄養の話「今が旬のアスパラガス」
今が旬のアスパラガス。ホワイとグリーン色の二種類があるが、栄養価が高いのはグリーンの方。ビタミンA、B、Cが多く含まれています。ビタミンB群のひとつである葉酸も含まれ、これは赤血球をつくるのに大事な成分。他に鉄分も多いので貧血を防ぐ効果があります。アスパラガスをおいしく、しかもビタミンの損失を少なくするにはゆで過ぎないこと。焼いた方がより有効です。さらに

B-カロチンの吸収を良くする為、ドレッシングをかけるなど油を使うのも効果的です。是非お試しください。
前田



ボランティア通信

平成9年がスタートし、新しく実習・ボランティアの担当になりました国岡です。今年には石丸と国岡の2人で頑張りたいと思います。皆様、宜しくお願いします。

今年度も、盛沢山のイベントを準備していますので、皆さん誘い合わせの上、遊びに来て下さい。詳細は、担当まで御連絡下さい。

国岡

（ボランティアありがとう）

- ☆生け花 西村 栄子
- ☆ブラッシング指導 森 隆子
- ☆散髪 田畑美智子 源造 順

※敬称略



編集後記

今月より新メンバーになり、97年度もいざ発進！全員戸惑いながらも何とか無事編集終了。これから年間皆で頑張ろう！
石井